

中国地方法人会連合会 会長賞 受賞作品

僕と税金と日本

岡山市立操山中学校 2年

伊達 健一郎

僕が、「税金ってすごいなー。」と初めて感じたのは5歳の時だった。家の近くの公園で遊んでいた時のこと。僕はあやまってすべり台から落下してしまい、大ケガをおってしまった。しかし、母が呼んだ救急車により、すぐに病院まで搬送され手術などの治療を受けた。すると僕は1ヶ月ほどの入院を経て、普通の生活が送れるほどにまで回復した。僕はその時、「僕も人を助けられるような仕事をしたい。」と思った。退院後、少し医者について勉強をした。すると医者の給料や病院の道具などのほとんどが税金でまかなわれていることを知り、税金について興味を持った。

しばらくして、母から僕が大ケガをした公園ですべり台を低くする工事が行われていると聞いた。どうやらその工事の費用は税金が使われていると言うのだった。僕はなんだか心が温かくなった。また人を守るために税金が使われたからだ。僕はこの時、税金の大切さを改めて感じた。

最近、税金が2011年に起こった東日本大震災の復興にも使われていることを新聞で知った。仮設住宅の建設や、がれきの撤去などに使われているらしい。しかし、その記事には税金を使っても足りていないとかかれていた。僕は驚いた。それは僕が税金は無限にあるかのように思いこんでいたからだった。そこで最新ニュースで話題になっている、税金を自分の贅沢のために使った疑いのある議員を思いだした。僕がその話を聞いた時、「国民のみんなが国を豊かにするために納めている税金を自分だけのために使うなんて最低だなー。」と思った。そんなお金があるなら震災の復興に使って欲しいというのが僕の意見だ。近頃はたくさん税金の無駄使いが生じているとインターネットにかいてあった。本当かどうかは分からないが、どちらにしろ今の政治家は国民の代表として自覚をもっと強く持つべきだと思う。

税金は国民の安全や快適な暮らしを実現するためにすごく大切なものだ。僕はまだ子供だが体験を通して感じることができた。最近、消費税が8パーセントに引き上げられた。決して悪いことではないが、国民を代表する人達の無駄使いを思いだすとあまり気持ちよくない。これからは税金の使われ方についてもっと国民に知らせていくべきだと思う。そうすれば無駄使いは減ると思うし、その分東日本大震災の復興や道路の整備など有意義なことに使われるようになるから国民も安心して税金を納められるようになるのではないかな。税金はすごく役に立つ一面、爆弾のような存在でもある。このような問題にどう取り組んでいくのが今後の日本の課題だと僕は思う。